

FAX 06-6223-0266 友新会行

友新会110周年記念

裁判映画祭参加申込書

参加申込書にご記入の上、FAXをお送り下さい。

詳細内容は友新会ホームページ (<http://www.yu-shin.gr.jp/>) へ

申し込みの際にいただいた個人情報は、本映画祭の目的以外には使用いたしません。

参加希望日	09年8月 ① 27日 (木) ② 28日 (金) ③ 29日 (土) 参加希望日に○をお付けください (複数日歓迎)		
所属先			
フリガナ 申込代表者			
住所	〒		
電話・携帯		FAX	
メール			
同伴者氏名 (1名まで記入)			

★宮崎哲弥氏(29日講師) 評論家、コメンテーター。たかじんのそこまで言って委員会(読売テレビ系)、ビートたけしのTVタックル(テレビ朝日系)などに出演。09年5月に「映画365本DVDで世界を読む」(朝日新書)出版。★丸田隆氏(28日講師) 弁護士、関西学院大学ロースクール教授。著書「裁判員制度」(平凡社新書)など。■「インディアンサマー」韓流映画。エリート弁護士が愛したのは、夫殺しで死刑を求刑された女。切なすぎる想いに涙が止まらない慟哭のラブストーリー。■「それでもボクはやってない」周防監督が自ら取材した数多くの痴漢事件の实在エピソードを作品中に散りばめつつ、日本の刑事裁判の実態を映像化したもの。当日は迫力の35ミリフィルム上映。■「12人の優しい日本人」 「日本にも陪審制度があったら？」という架空の設定で描かれる法廷劇・密室劇。被告人が若くて美人だったことから審議は概ね無罪で始まり、すぐ終わるかに見えたが、審議は意外な展開へ進む。■「12人の怒れる男」 名作『十二人の怒れる男』を現代ロシア版にリメイクした話題作。継父殺しの殺人容疑がかかったチェチェン人少年の裁判をめぐる、12人の陪審員で展開する現代ロシア映画。■「日独裁判官物語」 日本とドイツの裁判官の違いを浮き彫りにしつつ、日本の裁判官のあり方について問題提起するドキュメンタリー映画。■「真実の行方」大司教惨殺事件で逮捕されたのは、彼の侍者のアーロンという青年だった。弁護士マーティンは、事件の話題性から無償での弁護を申し出る。緊迫の陪審法廷サスペンス。